



広報

皆さんと村を結ぶ架け橋

# しむかっぷ

3

2024  
No.795



- 占冠村代表团 アスペン市議会訪問 -

## TOPICS

### 姉妹都市アスペン市を訪問して

姉妹都市提携30周年を祝うためにアスペン市を親善訪問した占冠村代表团、短期交換留学事業に参加した村中学生・後期課程生の感想をご紹介します。

### 地域おこし協力隊活動報告

地域おこし協力隊として働く隊員3人の活動状況をご報告します。



自然体感占冠  
Shimukappu/Hokkaido



# 占冠村・アスペン 姉妹都市提携30周年記念事業

～ 占冠村代表団アスペン市親善訪問の軌跡 ～

1月6日から13日までの8日間、松永英敬副村長を団長とする占冠村代表団11人が姉妹都市の米国コロラド州アスペン市を訪問しました。代表団は、アスペンの美しい街並みや歴史、文化に触れるとともに、温かく迎え入れてくれた現地の皆さんと友情を育み、今後も教育や文化、経済などさまざまな分野で交流していくことをお約束しました。占冠村代表団として参加された皆さんの感想をご紹介します。

## アスペン30周年記念事業を 終えて

団長(副村長) 松永 英敬

このたび村長の命を受け、姉妹都市提携30周年記念式典へ出席するため、占冠村代表団の団長として、26年ぶりに姉妹都市アスペン市を訪問しました。

これまで多くの村民とアスペン市民の皆さまが幾多の困難を乗り越え、昨年10月23日の占冠村での式典開催に続き、アスペン市30周年記念イベントという歴史的な行事に立ち会う機会を得て、両地域の友好関係の深さに感銘を受けるとともに、30年の歴史の重みを改めて認識するに至った素晴らしい式典でした。

記念式典では、多田教育長とともに占冠村を代表してスピーチを行い、アスペン市からは、トリー市長とデビッド・ポー教育長のスピーチがありました。また、在デンバール日本総領事館駐地勇首席領事からは「アスペンと占冠のパートナーシップは格別で、日本とコロラド州の絆の強化に大きく貢献している。アスペンと占冠のパートナーシップは、言語や習慣が異なる2つのグループを結びつける交流のお手本となるものです」との評価をいただきました。こうした評価を受けることが

できましたのは、30年以上にわたりアスペン市と占冠村の国際交流を途絶えさせることなく継続してきた両地域の関係者の並々ならぬ熱意とご尽力によるものであり、これまでお力添えをいただいた村民の皆さまにも改めて感謝を申し上げます。

## アスペン市を訪問して

村議会副議長 大谷 元江

このたび占冠村議会からの派遣者としてアスペン市を訪問しました。直接海外を訪問するのは初めてのことでしたが、アスペン交換留学でホストファミリーをしたことがあり、娘も交換留学でアスペン市への訪問体験をさせていたでいていましたので、ぜひ参加したいと考えておりましたし、この訪問は私にとって異文化を知る大事な経験となりました。

本訪問のメイン目的は姉妹都市提携30周年記念式典に参加することでしたが、滞在中は占冠村に関わりのある方々

の交流にとっても興味を持ちました。

との食事会や市議会訪問、歴史的・文化的な施設巡りなど、アスペン姉妹都市委員会にはきめ細やかなプログラムを組んでいただき、また常に手厚くサポートしてくださいましたおかげで充実した時間を過ごすことができました。感謝申し上げます。

何よりうれしかったのは、昨年10月にアスペン市代表団として占冠村を訪れ、私の家にホームステイしたジルさんとカリニーニョさんに再会できたことです。お二人からは「もう私たちは姉妹ね」と温かい言葉を頂いて大変感激しましたし、村民の皆さんにも、このようにアスペンの方々と国境を越えた友情を育んでほしいと感じました。

これからも、この姉妹都市交流が未永く続いていくよう私なりに取り組んでまいりますので、村民の皆さまにもお力添えのほどよろしくお願いいたします。

## アスペン市を訪問して感じたこと

村議会議員 下川 園子

私自身アスペンの方と交流できる機会が訪れたのは約5年ほど前でした。そして自身の子どもが派遣事業の対象となった際、初めて留学生の受け入れを経験しアスペン市と

占冠村では感受性豊かな中学2年生(後期課程8年生)という時期に中学生短期交換留学を経験させていただけました。この経験は子どもたちの未来への考え方がとても豊かになると考えます。これからも長く続けられるよう協力していきたいと思っております。

## アスペンを訪問して

中村 博

私は1987年と1999年、そして今回で計3回アスペンを訪問しました。

最初は姉妹都市になる前、アスペンの市民公園にイベント用の雪像づくりに派遣されたときです。占冠村をアピールするため当時アルファリゾートの職員と札幌から雪像づくりの専門家6人が参加し、アスペン市民のボランティアとスノークイーンのステイジ雪像をつくりました。作業をしていると公園を利用してある人から気軽に声かけがありました。街中にはおしゃれな街路灯があり今でも印象に残っています。

2回目は中学生短期交換留学事業の件で訪問し、占冠村から隔年の交流から毎年の交流を提案しました。アスペン側の評価も高く了承され、毎年相互交流する現在の形となりました。滞在中に二つの学校を案内され視察しましたが、市民の誰もがいつでも学校に来て授業を見られるようにと開かれた学校、授業でしかし以前事件があったように現在ではセキュリティが厳しく学校に入るために必ずチェックがありました。今回は3回目の訪問となりましたが、アスペン姉妹都市

## アスペン市訪問&30周年記念式典に参加して

赤石 秀明

委員会より赤石ファミリーと中村ファミリーが長きにわたる姉妹都市交流に貢献されたため功労者として表彰する話が届き、参加させていただきました。これも今まで交換留学に参加した中学生と引率された教諭、ホストファミリーとしてアスペン生徒を受け入れられた保護者の皆さんを代表して受賞したものと考えています。これからもアスペン市との交流が続くことを願ってやみません。

私は過去3回アスペン市を訪問しており、4回目の今回も大変素晴らしい訪問となりました。38年前にお会いした元市長のビル・スターリング氏、姉妹都市提携の前に占冠村に視察に来た元アスペン姉妹都市委員会委員長のレン・オレンダー氏、コミュニティプラザやショッピングモールを設計した建築家のジェームズ・A・ガスタフソン氏など多くの友人・知人に再会することができて感激しました。

また、アスペンの街並みは17年前に来た時と変わらず落ち着きがあった素敵でした。が、市役所も消防署も建て替えられて別の場所に移動して

いたり、各学校も新築されて素晴らしい近代的な建物に変わっていました。特に驚いたのはスノーマススキー場エリアの変化です。当時は閑散としていましたが、今ではコンドミニウムやスポーツジムなど素晴らしい近代的な建物がたくさんあって、まるで一つの街のようでした。これからもスノーマスはどんどん発展していくと思われれます。

今回の訪問のメインである30周年式典では多くのプログラムの組まれていましたが、中でも一番盛り上がったのが占冠中学生のよさこいソーランでした。踊りが始まると会場の雰囲気が一変し、終わると会場はスタンディングオベーションで拍手が鳴りやみませんでした。その後、アスペン姉妹都市委員会より、長年の姉妹都市交流に貢献してきた功労者として中村ファミリーとともに表彰され大変光栄でした。

このたびの訪問でアスペンの歴史や文化、施設見学などたくさん楽しい時間を過ごさせていただきました。特にアスペン姉妹都市委員会の皆さまからは熱烈な歓迎を受け、滞在中常に私たちを楽しませてくれました。本当に感謝感謝です。アスペン市と占冠村の姉妹都市交流がいつまでも続いていくことを願っています。



橋本 陽

アスペンと30年という長い深い関わり合いを続けてこられた皆さま、このエキサイティングな派遣に関わって計画実行された皆さま、送り出してくれた家族や村の方々にも感謝しております。そしてこの旅でアスペンの方々、占冠とのつながりをとても大切に思ってくれていることを強く強く感じました。出発前からとてもたくさんのお素晴らしい出来事がありました。が、全てをお伝えすることはできません。少しの思い出とアスペンかぶれた気持ちをごさまにお伝えします。

橋本 陽

姉妹都市交流に参加して

渡邊 舞子

私は今回、代表団の引率として参加させていただきました。小さい頃から外国に興味があり、アスペンにも以前から行ってみたいと思っていました。その機会をこんなにも早くいただけると思っていま

アスペンに到着して2日目から、元ALTのベン・ペリンスキーさんのお宅にホームステイさせていただきました。アメリカの新聞に載っているレシピでスパゲッティを作ったり、電話でメキシコ料理を注文するのを見守ってくれていたり、スペイン語がちらほら聞こえる日系コンビニに連れていってくれたり、自分の初アメリカ旅行を楽しいものにしようと、全力でサポートしてくれました。受け入れてくれたベンさんには大変感謝しております。他の姉妹都市委員会のメンバーにも言えることです。初めて訪れる国なのに、最初から家族みたいに接してくれる方がたくさんいるなんて、最高だな！と思います。アスペンと占冠村が、姉妹都市交流で紡いできた、信頼関係の証なんだと感じました。アスペンの方は、人をもてなし慣れている、外の人を受

私の出発前の不安はホームステイでした。東の果てからヒゲの中年おじさんが突然やって来て数日間暮らすわけですから…。しかしその不安や緊張があったからこそ、アスペンの方々と気持ちを通じ合っていく過程が心地良かったのだと思います。ホストファミリーやアスペン姉妹都市委員会メンバーたちの心遣いにとっても助けられました。みんな本当にとっても優しいんです。この旅で特に印象的だったのは、姉妹都市交流30周年記念式典です。会場には大勢の来賓の方々が詰めかけていて緊張感が満ちていました。その中で行われた中学生たちのよさこいの演舞は、スタンディングオベーションとなる素晴らしい発表でした。この演舞はアスペンの方々の心に強く響いていました。

長谷川 勘太郎

姉妹都市アスペンへ

この式典の行われたアスペン学区には、同じ敷地内に保育園から高校まであります。授業には長い山道を使ったロングトレッキングキャンプ、冬場はロングクロスカントリィキャンプなど多数の課外活動がカリキュラムに入っていました。その経験なので、うか、アスペンで暮らす人々は地域自然への関わりがとて深く、野外で遊ぶ楽しそうな姿と健康的で豊かな心をめざす街づくりを随所に見ることができました。

私の娘が4年後にアスペンに行くことになりました。自分子どもたちがいつか訪れるアスペンを知ることが貴重でエキサイティングな体験です。また今後もこのような村民の参加ができるのなら、この先に子どもたちが行くご家族の方にどしどし参加してほしいです。そしてみんなが少しずつアスペンを訪れることができれば、体感したたくさんさんのアイディアと知恵が次なる自然体感占冠を創造する力になると信じています。

4日目に訪問した歴史協会では、アスペンの歴史について説明していただきました。説明の中で、「アスペンに来る人は皆、アスペンの一部」という表現がありました。現在、占冠村の3人に1人は外国籍の方ですが、自分たちが余裕をもって誰でも受け入れられる体制になっているのかは、役員職員として考えさせられるところがありました。また、他の代表団の皆さんとお話ししましたが、アスペンと姉妹都市交流をもっと村民の方に知ってもらいたい、参加してもらいたいという気持ちになりました。

アスペンを訪れて

大谷 淳貴

このたび代表団の引率として初めてアスペンを訪問しました。海外渡航経験に乏しく、英語もからっきしなので行く前は不安でいっぱいでしたが、アスペンの皆さんが温かく迎え入れてくださり、常に私たちを気にかけてくださっておかげで、安心して滞在を楽しむことができました。

流行りはアメリカからやってくる。ハリウッド映画を観て、洋楽を聞き、英字シャツを着る。知っているつもりなのに、アスペンがアメリカのどの辺だか知らなかった。

このたび、光栄にも代表団に選んでいただきました。村の発展へ向けた知見を得ることを本懐としつつ、アメリカを知るチャンスと考えておりました。たどり着いたアスペンは白人街で、美しい街並みと相まって、スクリーンの中にある別荘が山の中腹で荘厳さとアメリカンドリームを輝きを放っている。巨大なピクアップトラックやバンに私が縮

アスペン派遣事業に参加して

大野 梢

このたびのアスペン派遣事業では、現地での式典や市議会訪問、教育現場やスキーリゾート視察、占冠村の中学生も交えた現地学生との交流などを体験させていただきました。

ホームステイでは各家庭へ1人ずつがお世話になり、朝夕の食事を共にしお互いの国や暮らしの話をしたりと、とても有意義な時間を過ごすことができました。また今回の事業で、普段の生活ではなかなか交流する機会の少ない議員の方々と役員職員の皆さんと一緒に行動し同じ時間を共有できたことは住民としても素晴らしい収穫であり、より理解を深める良い時間になったと考えます。

スノーマスキーリゾートでは、以前占冠村で英会話を教えてくださったベンさんもグレンデの案内人として同行してくださり、現地の方々も交えて楽しくスキーをすることができました。またホームステイ先のエイミーさん(学校の校長先生)が、忙しい中、毎日美味しい食事を作ってくださったこと(特に熱々のパンディングが最高においしく、レシピを教わりました)も新鮮で心に残っています。

アスペンでの体験が占冠村での暮らしをさらに良いものにしてくれることは間違いなく、そして1人でも多くの村民の皆さんがまたアスペンで素晴らしい体験ができるよう、これからも事業に携わっていきたく思います。30年間続いている友好と、それを支える占冠村の皆さんに心から感謝いたします。

占冠村代表団スケジュール

日にち	活動内容
1/6(土)	出発 アスペン市に到着(時差-16時間のため同日到着)
1/7(日)	アスペン市街散策 姉妹都市提携30周年記念式典
1/8(月)	アクティビティ等体験(スノーマス) スノーマス議会訪問
1/9(火)	歴史協会訪問 アスペン姉妹都市委員会主催昼食交流会 アスペン市議会訪問
1/10(水)	アスペン学区訪問 ACES(アスペン環境研究所)訪問 フェアウェルディナー
1/11(木)	アスペン・コミュニティ・スクール訪問 ホテルジェロームツアー アスペン姉妹都市委員会訪問 アスペン市を出発
1/12(金)	飛行機移動
1/13(土)	帰国

30周年記念式典プログラム(1/7)

国旗行進
歓迎あいさつ
姉妹都市ソング「We Are One」歌唱
姉妹都市交流の歩み「History of Sister Cities」上映
占冠村代表団の紹介
アスペン・占冠村代表者、来賓あいさつ
元ALTベン・ペリンスキー氏による琴演奏
アスペン中学生によるプレゼンテーション
占冠村中学生・後期課程生による自己紹介 よさこいソーラン披露
功労者表彰：赤石ファミリー 中村ファミリー カマラ・マーシュ氏 コーリー・ルックス氏
アスペン市宣言
ジョン・デンバーソング歌唱

# アスペン中学生短期交換留学事業(派遣)参加報告



1月5日から14日までの10日間、姉妹都市アスペン市との交流事業「アスペン中学生短期交換留学事業(派遣)」が行われ、村内の中学生および後期課程生がアスペン市を訪問しました。参加した生徒たちはアスペンの地でどのようなことを学び、経験したのでしょうか。それぞれの感想についてご紹介します。

参加者：中学生・後期課程生7人、引率者4人

## アスペンで楽しかったこと・つらかったこと

占冠中学校 鈴木 楊生

私がアスペンに行って楽しかったことはスキーをしたこととホストファミリーと話せたことです。まず最初にスキーのことに話します。私はスノーマスの山を滑りました。スノーマスのスキー場はすごく広く、そしてジャンプ台やボックスなど、アクティブな感じのスキー場でした。私はスキーでわざわざキャンプとかしたことがないので初めてのことですが、体が浮く感覚や、着地がすごく楽しくて、すねが痛くなるまで楽しみました。ですがすごく風が強く、天候が最悪で、目の前が見えなくなるホワイトアウトに陥りました。そんな中スキーをするのがアメリカっぽいなと思いました。



続いてホストファミリーと何を話したかについて話します。私のホストファミリーは日本に大変興味があり、すごく日本のことについて聞いてきたり、逆にアスペンで何が楽しかったか・何がおいしかったか等いろいろ聞かれました。そして、私のホストファミリーは人望が厚く、たくさんの方がご飯を食べに来ました。私はそんな人たちと仲良くなろうと頑張ったのですが、やはり自分の英語力のなさがで仲良くなれませんでした。ですが、大人の私たちは熱心に自分の話を聞いてくれて、中には日本に行ったことがある人もいて、いろいろな人が来て、たくさん話せて楽しかったです。ですが自分はお世辞を知らないで、アメリカのご飯と日本のご飯どちらがおいしいのか何度も聞かれたのですが、そのたびに「Japan」と答えていました。



最後につらかったことについて話します。つらかったことは、自分の英語力がなさすぎてホストファミリーの友達とあまり仲良くなれなかったことです。そして、アスペンは酸素が薄いので、満足に息が吸えないなど、色々つらかったこともありました。こんなふうに楽しかったこと・つらかったことについて話してみましたが、楽しさやつらさは住んできた環境によって異なるということを学びました。

## アスペンの思い出

占冠中学校 中本 帆香

はじめに、このような貴重な体験をさせていただきありがとうございます。アスペンでは人々が優しく接してくれたので、分らないことを教えてもらってくれました。そのおかげで、アスペンを精一杯楽しむことができました。

今回は、私が体験したアスペンで楽しかったことを紹介していきます。まず一つ目は、お買い物です。想像しているよりお店が大きくて、でも日本のように何階建てになっていないわけ

## 「縁」

占冠中学校 杉岡 那奈

緊張、不安、興奮。さまざまな思いを胸に、私たちはアスペンへ飛び立ちました。初めての国際線は、楽しい思いとともに、目的地が近づくにつれ、緊張による暗い感情も募らせました。その緊張はなかなか消えず、アスペン空港に入ってからみんなと別れてホストファミリーの元へ行く一歩は、今でも思い出すと胸がキュッと締め付けられるような思いでした。初めてホストファミリーと夕食を食べた際は、緊張で話そうと考えていたことも忘れ、頭が真っ白になりました。そんな中、ホストファミリーが私にお土産として恐竜のパーカーをプレゼントしてくれました。そのパーカーは家族皆おそろいで持っているらしく、なんだか私を家族として迎えてくれたような気がして本当にうれし



は、初めの海外ということもあり不安がたつきありませんでした。ですが、アスペンでは人々が優しく接してくれたので、分らないことを教えてもらってくれました。そのおかげで、アスペンを精一杯楽しむことができました。

二つ目は、スキーです。私は、小さい頃からアルペンスキーをしているのでスキーが有名なアスペンでスキーをすることをとても楽しみにしていました。スキー場は、日本では体験できないほど大きくて、雪質が良くとても楽しかったです。ですが、いつも使っている板のようなものはなかったため、操作に慣れるのに時間がかかりました。

くなりまりました。また、6日目に家族でレストランを訪れた際、昨年度私の家に来てくれたスカイラと再会しました。その時、アスペンと占冠の絆やつながりを感じました。ホストファミリーだけでなく、アスペンでお世話になった方々との絆を、この先も深め続けていけたら良いな、と思いました。

また、アスペンではホストファミリーだけでなく、友人たちにもとても助けられました。それは、共に行動していると安心できる、というのはもちろんですが、私が一人では緊張して聞けなかった質問も友人となら聞くことができました。その他にも店員さんに道を聞いたり、他のお客さんに話しかけてみたり、ガイドさんに質問をしに行ったり。私一人ではできなかったこと、知れなかったものを学ぶことができたのは、友人のおかげでもあります。私に新しい発見をくれる友人たちにも、改めて感謝したいと思います。

今回、アスペンにホームステイできたことは、私の一生の思い出です。7人での貴重な体験ができたことを本当にうれしく思います。改めて、私のホストファミリー、占冠とアスペンの関係者の皆さま、本当にありがとうございます。



アスペンでは、休日に家族や友達とスキーに行ったりスケートをしたりすることが当たり前で、それはとても素敵だと感じました。

最後に、私はアスペンでも楽しいアスペンの日常を体験させていただきました。でも、やはり不安だったことや風邪をひいたり、予想外のことや起きると気持ち的に沈んでしまうこともありました。楽しいことだけではなく、少し不安なことも私の人生においてとても貴重な体験になりました。

このような機会を与えてくれた本当にありがとうございます。

## アスペンで学んだこと

占冠中学校 八木 瑛音

私はこのたびアスペンに行かせてもらいました。まずはこのような貴重な体験をさせていただきありがとうございます。アスペンに行くことが決まった際には言語の違いや環境の違いなどに不安を感じていました。ですが実際に行ってみると自分の文法がおかしくても理解してくれたり、聞き取れなかったことを翻訳などで教えてくれたりなどのアスペンの方々の優しさを感じました。学校で習った英語などを使いつつ過ごすことができました。



私は環境の違いに苦戦しました。日本とは比べものにならないほどの乾燥が自分にとって一番苦戦した部分です。私は普段からこまめに水を飲む習慣がないので水をあまり携帯しなかったため喉がすぐ乾きました。そのようなことなどに悩まされたりなどはし

ホストファミリーとの思い出で、最も楽しかったのはスキーです。私のホストファミリーは土日スキーを計画してくれていて、私がアスペンに着いた翌日にスキーを楽しむことができました。アスペンのスキー場は、日本より広く標高がとても高く、難しいコースは日本のコースよりも難しいと感じました。最初にアスペンにある四つの山のうち、バタミルクという山に行きました。難易度的には簡単な山だそうですが、やはり広大でした。次にアスペンハイランズという山に行きました。ここは、ホストファミリーのお気に入りの山らしく、お気に入りの山らしく感じました。今回の滞在では、英語を話さなければいけませんでしたが、ホストファミリーはいつでも優しくゆっくりと話してくれたり、翻訳を使ってくれたりしながら、私の好きなゲームの話や、日本やアスペンの話してくれました。私は、すぐに家族の一員として馴染むことができました。最後に、短期交換留学事業に参加できたことは、私にとって、とても貴重な経験になりました。さまざまな準備をしてくださった方々、私を温かく受け入れてくださったアスペンの方々、本当にありがとうございました。



ましたが、それ以上に楽しい体験が多くARRC(アスペンレクリエーションセンター)でのスケートや水泳、ACES(アスペン環境研究所)での鳥の観察など日本ではできないような体験もたくさんさせてもらいました。

アスペンの中学校では日本にはない施設や日本との授業の進め方の違い、教室の数等さまざまな違いに驚かされました。日本にも取り入れてほしい制度や文化などもたくさんあり、その中でも私が一番いいと思った制度は生徒が自ら先生のいる教室に向かうことです。アメリカと日本では国の面積での差も大きく学校に使える面積も違うため実現は難しいかもしれませんがそのようなことについて学べたこととてもいい経験になったと思います。

改めてこのような経験をさせてもらったことに感謝し、今後の日常に生かしていきたいと思えます。

## 全員でつなぐアスペン交流

トナム学校 藤本 日々

アスペン交流という素晴らしい文化は、私にたくさんのことを教えてくれました。私のホストファミリーは本当にいい人たちで、こうしてアスペンから日本、日本からアスペンへの派遣が終わった後も、連絡をしてくれて、アスペン交流というのには、「迎えて、行って終わり」ではなく、その後もずっと続いていくものなのだな、と感じました。最初にサンフランシスコ空港に足を踏み入れた時、海外にずっと憧れを持っていた私は、言葉に表すことのできない満ち足りた気持ちになりました。動きました。このような体験をさせていただけただけでなく、私の人生において、大きな出来事だったと思います。



## 日本とアスペンの違い

占冠中学校 渡辺 竣介

皆さんは日本と他国の違いを感じたことはありませんか？私がアスペンに行ったら日本と違うなと感じたところは四つあります。

一つ目は、言語です。私は英語が苦手な留学する前はうまくコミュニケーションを取れるのか心配でした。アスペンに行っても最初は難しく、苦戦しました。ですが、ホストファミリーと会話をたくさんすることで途中からアスペンのみんなとコミュニケーションを取るようになりました。日本に帰ってきて自分の英語に自信を持ちながら授業を受けることができました。

二つ目は、1日の過ごし方です。日本とは違い、アスペンは時間にルーズでした。それによって今後の予定が分からなかったり、時間が押していたり大変でしたが、そのハプニングも自分にとってはイベント的な存在なので楽しかったです。

三つ目は、食事です。アスペンの食べ物とは味もサイズも全く違います。アスペンの食べ物ほとんど味が濃く、大きかったです。特にピザはサイズが段違いで大きく、味も最高でした。私は



私がステイした交換留学生の子の部屋には、ベッドのすぐ横に、「日本コーナー」があって、日本に来た時に買った物や、思い出の物などが大切に保管されていました。それを見て、この交換留学というのには、関わっている全ての人が、異国に行き、新たな友達と出会うことを大切にすることによって成り立っているのだな、と感じました。

これまで30年間、多くの人々が占冠村を訪れ、アスペンを訪れてきたと思います。このプログラムは、これほどまでにたくさんの人たちをつなげ、数えきれない絆を結びつけてきました。これから増えていくと思うと、とてもうれしくなります。今年、そんな素敵なプログラムの一員になることができ、本当に誇りに思います。この交流で触れ合うことのできた皆さん、支えてくれた皆さん、もっと深く知れたみんな。全員に大きな感謝を伝えたいです。

アスペンでの9日間、毎日油の多い食べ物を食べていたのですが、体重が増えていなくてびっくりしました。

四つ目は、環境です。アスペンの学校は広く、きれいで私も通ってみたいと思うくらい素晴らしい学校でした。特にミドルスクールの校庭はすごく広く、毎日そこで遊びたかったです。環境の違いは学校だけでなく、街の道路や歩道には雪が少ないことです。アスペンは雪が多いイメージだったので歩きやすかったです。

私は、アスペンに行っている経験ができて良かったです。短期交換留学に関わっている皆さん、私たちをアスペンに行かせてくれてありがとうございます。今後もこの経験を生かしていきたいと思えます。



## アスペン派遣を経て

トナム学校 松本 直樹

私は、今回の中学生短期交換留学事業に引率の立場として参加させていただきました。派遣された生徒たちは皆、文化や言語の異なる地でありながらも、現地の方々と積極的にコミュニケーションを取り、10日間という短い間にも関わらず、派遣前後で見違えるほどの成長をしていたように思います。このような、英語を使ったコミュニケーションの経験や、日本とは異なる文化の中での生活は、生徒たちにとってこれからの人生観を変えるものであると思います。

そしてこのアスペンへの派遣は、私にとっても人生を変えるきっかけの一つとなることを確信しています。私を受け入れてくださったルークは、私と同じく数学の先生であり、彼とは日本とアスペンの教育制度の話や、数学の話をする話もありました。そのような話をするうちに、私の中で「海外で先生をやってみよう」という思いがだんだんと強くなっていきました。そして同時に、今回の派遣のような、子どもたちと世界をつなぐ交換留学事業にこれからも関わっていきたくと思いました。30年前、初めての



## アスペンの温かさ

トナム学校 神部 爽椰

今回の短期交換留学事業への参加は、私にとって初めての「海外」となりました。持ち物は何を持っていけばいいのか、自分の英語は伝わるのだろうか、さまざまな不安がありました。アスペンに着いたから、必要な物を取り出すのに戸惑ってしまうこともありましたが、しかし、ホストファミリーと一緒に荷物を確認してくれたり、簡単な英語で話してくれたりして、緊張がほぐれ安心することができました。今思うと、病氣などにかからなかったのは、心の底から安心できたからだと思います。

交換留学生として占冠村を訪れたコーリーさんが、今は占冠村の子どもたちをアスペンへ導いてくださっています。他にも、ティンバーさんをはじめとして、アスペンからの多くの方々がこの占冠村を支えてくださっています。私も彼らのように、海外で現地の子どもたちを支えながら、日本の子どもたちの素敵な経験のお手伝いをしていきたいと思えました。

今回、引率の立場として参加させていただきましたが、子どもたちに負けず、私自身も文化・世代を超えて多くの友人ができ、めざしたい新たな夢もできました。改めて、事業に携わっていただいた多くの方々へ感謝を申し上げます。今後も占冠村とアスペン市の交流が末永く続いていくことを願っています。





# 地域おこし協力隊 活動報告

地域活性化の使命を担う「地域おこし協力隊」。占冠村では現在3人の隊員が林業・子育ての分野において日々精力的に活動しています。それぞれの活動状況についてご報告します。

これからもメープシロップの魅力を深掘りし、全国へ発信していきます

令和2年12月より地域おこし協力隊として活動している田中です。主に村の特産品であるメープシロップ「トペニワツカ」の製造補助や販売促進などに従事させていたです。また、今年度はふるさと納税事業において、ポータルサイトの管理補助やメープシロップをはじめとした返礼品の申し込み対応にも挑戦させていただきました。昨年12月に隊員としての活動期間3年を無事に終え、現在は協力隊の延長制度を活用し活動を続けさせていたです。

前に販売終了となりました。毎年多くの方々に占冠村のメープシロップを知ってもらうことができ、大変うれしく感じています。すでに昨年末より先行予約を受け付けており、来年度も引き続き尽力していきたいと考えています。早いもので着任から3年が経ち、村に来る前から興味を持っていたメープシロップの生産を行いながら、この村でしかできない経験を多く得ることができました。これらの経験を生かしながら、これからもこの村でメープシロップ作りと向き合っていきたいと思っています。



励みとして有効に活用し、さらに特産品の価値を高めていけるように施策を行っていきたいと考えています。活動に際して、地域の皆さまにはお世話になることも多々あると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしく願っています。



たなか けい 隊員  
所属：農林課林業振興室

日々成長する子どもたちの姿に元気をもらっています



おえ まさみ 隊員  
所属：福祉子育て支援課  
子育て支援室

令和4年4月から地域おこし協力隊として占冠保育所で勤務している尾江です。占冠村に来て早くも2年目を終えようとしています。夏の暑さや冬の寒さなど、占冠の四季の移り変わりを肌で感じながら過ごしています。

保育所では、昨年の4月から1歳児保育がスタートしました。小さなお友達が増えたことで、子どもたちが小さな子たちを思いやり、身の回りのお世話を手伝ってくれたりしている光景はとてもほほえましく、日々の生活や行事を通して優しく、そしてたくましく成長していく子どもたちの姿を目の当たりして喜びを感じています。

昨年の秋ごろから保育所の交流コーナーを活用してベビーマッサージ教室を実施しています。まだ保育所に入る前のお子さんや保護者の方々と触れ合う機会が増えてうれしく思っています。これからも、日々の学びを大切に、今後の保育活動に生かせるよう皆さんと協力しながら楽しく活動していきたいと思っています。



さまざまな活動を子どもたちと楽しんでいます

令和4年5月から地域おこし協力隊として占冠保育所で働いている大岩です。豊かな自然に囲まれて、心穏やかにゆったりとした時間の中で子どもたちと過ごせることをうれしく思っています。今年度は担任業務を承り、季節に合わせた製作や発達に合わせた活動を実施してきました。鉄棒や縄跳びなど得意なことに取り組んだり、子どもたちが好きなアニメやゲーム、気に入っている曲などを取り入れて楽器演奏や塗り絵、ルールのある遊びなどを行ったりました。初めは友達が遊んでいる姿を見ているだけだった子が自分で挑戦しようとしていたり、繰り返し挑戦する中で達成する喜びを感じたりと、心身ともに成長していく

過程を見守らせていただきました。コロナ禍で縮小していたお料理会や園内研修、トマム保育所との交流の機会なども増え、村ならではの行事を子どもたちと一緒に楽しんでいます。これからも一人一人の個性を大切にしながら、得意なことを伸ばせるように関わっていききたいと思います。



おおいわ みき 隊員  
所属：福祉子育て支援課  
子育て支援室



1/28 日



## 幻想的な景色を眺めながら爽やかに ファットバイクダウンヒル

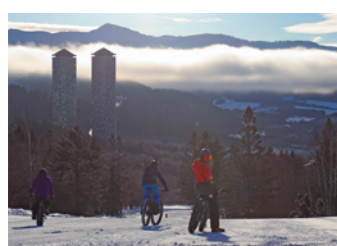
占冠村サイクルツーリズム推進実行委員会が主催するガイドツアーが星野リゾート トマムのスキー場で開催され、村外から4人の参加がありました。

本イベントは星野リゾート トマムの全面協力を得て行われ、スキー場オープン前の早朝と夕方の2回、参加者はファットバイクでダウンヒルを楽しみました。

早朝1本目の際には、冬には珍しく雲海が発生していて、雲海と霧氷とが織りなす幻想的な光景を前に参加者からは「すごくきれい」「素晴らしい」などと感嘆の声が漏れ、夢中になって写真撮影を楽しむ様子も見られました。

また、本イベントにはスノーモトアンバサダーのHiroshi TKさんが講師として参加し、参加者にスノーモト・スノースクートの乗り方や楽しみ方をレクチャーしていました。

参加者から大好評だった今回のイベント。同実行委員会では今後も魅力的なツアーを企画していくとのことですので、皆さんも参加されてみてはいかがでしょうか？



くまざき 莉子 さん

# 全国大会 第7位

## おめでとうございます!!

〈競技種目〉

### 女子大回転(ジャイアントスラローム)

令和6年2月6日(火)～9日(金)、長野県野沢温泉スキー場で開催された第61回全国中学校スキー大会アルペン競技において、出場した熊崎莉子さん(占冠中学校3年)が女子大回転(2月7日)で7位に入賞しました。

プレッシャーも大きかったと思いますが、7位という好成績を収められたことにお祝い申し上げます。熊崎さんのこれからのご活躍を応援しております。



### 熊崎さんからのコメント

回転では、1本目が6位、2本目を途中棄権してしまい入賞できませんでしたが、大回転では7位になることができました。両方ともあまり納得のいく結果ではありませんでしたが、中学校最後の全国大会で入賞できて安心しました。応援ありがとうございました。

# 中学生および 後期課程生の アンケート結果 の実施結果

令和2年3月に策定した「第2期占冠村まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、「中学生の占冠村への愛着度(令和6年度)を4.6点(5点満点)以上とする」ことを数値目標として設定しております。

現時点での地域愛の把握とともに、今後の施策の推進に当たっての具体的な希望などを把握するため、昨年度に引き続き、アンケートを実施しました。

皆さまからいただいた貴重なご意見は、今後の地方創生の取り組みに反映していきたいと考えておりますので、今後とも協力くださいますようお願いいたします。

## 【結果の概要】(回答者19人、回答率100%)

### 1. 占冠村への思いについて

占冠村への愛着度は4.4点であり、目標値の4.6点からやや下回っています。

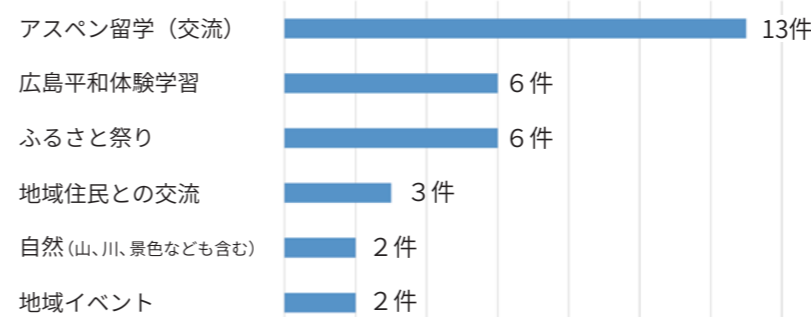
項目	点数	項目	点数
①山や川などの自然環境	4.7点	②治安がよく、安心して暮らせる	4.7点
③通学路などの道路の安全や通行のしやすさ	3.4点	④電車・バス・道路などの村外との交通の便	2.6点
⑤日常の買い物	2.9点	⑥学習環境	4.2点
⑦スポーツ活動	4.1点	⑧放課後の過ごし方	4.1点
⑨国際交流	4.9点	⑩地域の人たちとのつながり	4.8点
⑪イベント、伝統文化	4.6点	⑫暮らしやすさ	3.9点
⑬占冠村への愛着度	4.4点		



— 国際交流：アスペン市訪問 —

### 2. 占冠村の魅力について

回答総数38件(1人2つ回答) ※上位6位までを抜粋



### 3. 地域の人との関わりについて

地域の人気が軽にあいさつをしてくれたり、優しく話しかけてくれたり、困ったときに助けてくれたことがうれしいといった回答が多くありました。



### 4. 占冠村に住み続けたいか、住み続けたくないかについて

#### ○住み続けたい(戻ってきたい)理由

都会より安心して暮らせる。高速道路が近く移動しやすい。家賃が安い。村に恩返しするため。1回村で働いてみたい。アスペン関係に関わりたい。子どもたちが学ぶのにふさわしい地域だと思う。空気がおいしく地域の人が優しい。

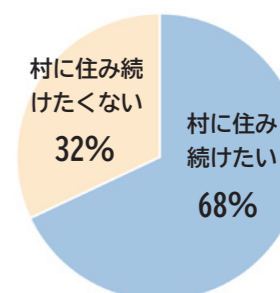
#### ○住み続けたくない(戻ってきたくない)理由

都会に住んでみたい。出会いがない。交通や買い物不便。新しいものや場所がない。就きたい職業がない。

### 5. 将来の占冠村はどんな村であってほしい?

#### ※主な意見抜粋

都会並みでなくていいから、にぎわってほしい。  
きれいな自然が保たれ、地域住民のんびりと暮らせる村。  
子どもが不便なく楽しくて村民同士のつながりの深い村。  
若者の働く場所がある村。





# こんにちは 保健師です

皆さんが健康で元気に過ごすための役立つ情報をお届けします  
☎ 住民課保健予防担当 ☎ 56 - 2122

## 健康寿命を考える

世界的に見ても高齢化率の高い現代日本。平均寿命(0歳における平均余命)が延び、「人生100年時代」というフレーズも昨今よく耳にしますが、生涯健やかで心豊かに生活を送るためには「健康寿命」をいかに延ばすかが課題だといわれています。

健康寿命とは「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」のことです。平均寿命から健康寿命を引いた差が「不健康な期間」、つまり、寝たきりや認知症など自立した生活が送れていない期間となり、この差を縮小することが健康寿命を延ばすことに結びつきます。



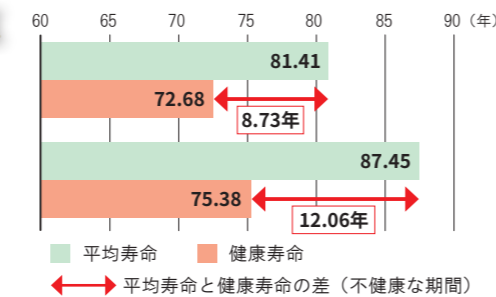
平均寿命 - 健康寿命 = 不健康な期間

この縮小が重要!!

厚生労働省が示すデータによると、2019(令和元)年の平均寿命は男性81.41歳、女性87.45歳であり、健康寿命は男性72.68歳、女性75.38歳です。また、右図が示す通り、平均寿命と健康寿命の差(不健康な期間)は男性8.73年、女性12.06年となっており、2010(平成22)年から男女とも徐々に縮小傾向にあります。

※2010年時点の「不健康な期間」⇒ 男性：9.13年、女性：12.68年

図：平均寿命と健康寿命の差(2019年) ※厚労省の資料を基に作成



### 健康寿命を延ばすための取り組み

健康寿命を延ばすためには、日常生活習慣を改善し、さまざまな疾患を横断的に予防することが大切です。改善に向けた取り組みの例として次のような項目が挙げられます。

- ▶ 年齢に応じてバランスの良い食事を心掛ける
- ▶ 過度な飲酒を控える
- ▶ 喫煙を控える
- ▶ 適度に運動する
- ▶ 睡眠時間をしっかり確保する
- ▶ 社会関係を保ち、孤独になるのを防ぐ
- ▶ 歯や口腔内の健康を維持する
- ▶ 定期的に健康診査を受ける など

しかしながら、これら全てに気を配り生活するのは難しいと思われるので、特に改善が必要だと感じる項目について優先的に取り組みましょう。

### 健康寿命と心疾患予防

心疾患は日本人の3大死因の1つであり、占冠村の介護保険利用者の多くが抱えている病気です。心疾患の予防は健康寿命を延ばすことにもつながりますので、普段の生活から意識すべきポイントをご紹介します。

#### 食生活の改善

- ① 魚や野菜を中心にする!
- ② 塩分、脂質、糖質は少なめに!
- ③ カリウムやマグネシウムを含む食材を積極的に取る!

魚や野菜を中心とした食事は、心疾患のリスクを高める血圧や血中の悪玉コレステロール、中性脂肪に関係する塩分、脂質、糖質を抑えることにつながります。また、血圧を下げる働きを持つカリウムや血圧の調整に作用するマグネシウムを多く含む食材を積極的に取り入れましょう。

- ▶ カリウム：シイタケやじゃがいも、納豆など
- ▶ マグネシウム：クルミやアーモンド、あさりなど

#### たばこ習慣の見直し

たばこをやめると、善玉コレステロールが増え、動脈硬化の進行抑制のほか、血栓ができにくくなります。



#### 運動不足の解消

運動不足は肥満や心肺機能の低下にもつながります。軽いウォーキングをするなど、無理のない範囲で徐々に運動を習慣化していきましょう。



# 生涯学習の窓

教育・文化・スポーツのホットな情報をお届けします  
☎ 教育委員会社会教育担当 ☎ 56 - 2183

保護者の皆さまへ

## お子さまが安心安全に スマートフォンを利用するために

進学・進級に併せて、お子さま自身のスマートフォン等のインターネット接続機器を購入し、利用されるご家庭も多いかと思います。

特に満18歳未満のお子さまがインターネット接続機器を利用される場合、保護者の方は次の点にご注意ください。



### 適切にインターネットを利用する!

SNSを利用して子どもたちを言葉巧みに誘い出し、事件やトラブルに巻き込まれる深刻な事案が発生しています。インターネットに関する知識、情報モラルやコミュニケーション能力を親子で身に付け、正しく利用することが重要です。



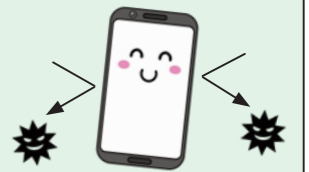
### ご家庭のルールを作る!

長時間利用によるネットの依存症も増加しています。適切な生活習慣が身に付けられるように、お子さまと一緒に話し合いそれぞれのご家庭のルールを作りましょう。「利用時間は夜9時まで」など、ルールは具体的に決めることがポイントです。



### フィルタリングなどを設定する!

「フィルタリング」は、知識が十分でないお子さまが不用意に違法・有害サイトにアクセスできないよう制限する機能です。子どもたちが事件・事故に巻き込まれないようにスマートフォン等には必ず「フィルタリング」を設定してください。



総務省のホームページにおいて、実際に起きたトラブル事例を基に予防法と対策法をまとめた「インターネットトラブル事例集(2023年度版)」や、相談窓口のご案内について掲載されていますので、ぜひご活用ください。

#### ▶ インターネットトラブル事例集(2023年度版)

総務省インターネットトラブル事例集

検索

#### ▶ インターネット上の誹謗中傷に関する相談窓口のご案内

総務省インターネット上の誹謗中傷への対策

検索



みつや りくと  
社会教育担当 三ツ谷 陸翔



## 労働基準監督官採用試験のご案内

2024年度労働基準監督官採用試験のご案内です。  
労働基準監督官とは、労働基準関係法令に基づいてあらゆる職場に立ち入り、法に定める基準を事業主に守らせることにより、労働条件の確保・向上、働く人の安全や健康の確保を図り、また、不幸にして労働災害に遭われた方に対する労災補償の業務を行うことを任務とする厚生労働省の専門職員です。

### 1 インターネット受付期間

令和6年2月22日(木)～3月25日(月)〈受信有効〉

### 2 受験資格

- 平成6年4月2日～平成15年4月1日生まれの者
- 平成15年4月2日以降生まれの者で次に掲げる者
  - 大学(短期大学を除く)を卒業した者および令和7年3月までに大学を卒業する見込みの者
  - 人事院が①に掲げる者と同等の資格があると認める者

### 3 第1次試験

令和6年5月26日(日)

### 4 第2次試験

令和6年7月9日(火)～7月12日(金)の指定された日  
受験申し込みはインターネットにより行ってください。  
※パソコンの利用環境チェックや事前登録などが必要です。詳しくは人事院のホームページをご確認ください。

人事院 労働基準監督官採用試験

北海道労働局総務部総務課人事第一係  
☎ 011-709-2311 (内線3508)

## 中皮腫や肺がんなど 石綿による疾病の補償・救済について

中皮腫や肺がんなどを発症し、それが労働者として石綿ばく露作業に充実にいたことが原因であると認められた場合には、労働者災害補償保険法に基づく各種保険給付や石綿による健康被害の救済に関する法律に基づく特別遺族給付金が支給されます。

石綿による疾病は、石綿を吸ってから非常に長い年月を経て発症することが大きな特徴です。

中皮腫などでお亡くなりになられた方が過去に石綿業務に従事されていた場合には、労災保険給付等の支給対象となる可能性がありますので、最寄りの労働基準監督署または北海道労働局にご相談ください。

北海道労働局労働基準部労災補償課  
☎ 011-709-2311

## 生活・仕事相談会を開催します

日時 令和6年3月27日(水)  
①10時00分～10時50分  
②11時00分～11時50分  
場所 占冠村役場  
対象者 生活の中で「どうしたらよいか分からない」ことがある方  
申込 3月26日(火)の午後3時までに  
電話、FAX、メールで予約してください。  
相談料 無料

自立相談支援事業所「かみかわ生活あんしんセンター」  
☎ 0166-38-8800 FAX 0166-33-0021  
メール anshin@kamikawa19.hokkaido.jp

## 占冠村選挙管理委員会委員のご紹介

選挙管理委員会の委員は、公職の選挙に関する事務およびこれに関係のある事務を管理するため、地方自治法によって都道府県および市区町村に設置が義務付けられています。

占冠村選挙管理委員会委員は4人で構成され、令和5年12月14日の第5回占冠村議会定例会にて次の通り4人が当選されました。なお、後日開催された選挙管理委員会で、委員長および委員長職務代理者が決まりましたのでお知らせします。任期は、令和5年12月23日から4年です。

委員長 山崎正紀  
委員長職務代理者 長瀬弘侍  
委員 菅原勇治郎  
八木靖子

占冠村選挙管理委員会(役場内) ☎ 56-2121

## 占冠村低所得者支援給付金のご案内

エネルギー、物価高騰などの影響を受ける住民税均等割非課税世帯(子ども加算のみ)および均等割のみ課税世帯への支援を目的とした給付金です。

### 給付金の支給額

- 高校生等までの子どもの世帯員がいる場合、子ども1人当たり**5万円**
- 住民税均等割のみ課税世帯1世帯当たり**10万円**

対象者には別途手続きに関する書類を送付しますので、ご不明点等は下記担当までお問い合わせください。

福祉子育て支援課社会福祉担当 ☎ 56-2125

## 外務省からのお知らせ 旅券(パスポート)の切替申請について

令和6年4月1日(月)より、占冠村でもオンラインでの旅券(パスポート)の切替申請手続きが可能となります。これまでの紙の申請書による申請では、申請時と受取時の合計2回窓口に向く必要がありましたが、オンラインで切替申請を行うと受取時の1回のみで良いこととなりますので、ぜひオンライン申請をご活用ください。

※これまで通り、紙の申請書でも申請できます。

### 利用可能なパターン

- パスポートの残存有効期間が1年未満となった場合
- 査証欄の余白が見開き3ページ以下になった場合

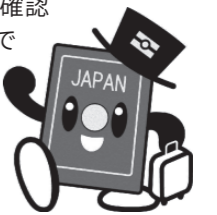
### ご注意ください!

- 下記の場合はオンライン申請の対象外です。
  - 初めて申請(新規申請)する場合
  - お手持ちのパスポートがすでに失効している場合
  - 戸籍上の氏名や本籍地に変更があった場合
- オンライン申請ではマイナポータルを利用しますのでマイナンバーカードが必要です。
- 新規申請を行う場合は、これまで通り紙の申請書による申請となります。なお、戸籍抄本では受け付けることができませんので、戸籍謄本の提出が必要となります。

詳しくは外務省のホームページをご確認  
いただくか、役場総務課総務担当まで  
お問い合わせください。

外務省 パスポート

総務課総務担当 ☎ 56-2121



## 入居資格

次の条件を満たす方が申し込むことができます。

- 占冠村にお住まいの方、村外から移住される方
- 月収が15万8,000円以下の方  
(例えば、給与収入者で扶養家族がある場合、源泉徴収票の給与所得控除後の金額から同居扶養控除等の金額を引き、残りの額を12カ月で割った金額が15万8,000円以下の方)  
※敷金の納入が必要です。  
※連帯保証人が2人必要です。

★入居者と同等以上の収入のある方

■家賃 入居される世帯の収入等に応じて決定されます。

■入居可能日 概ね4月1日(月)

■入居決定 入居者選考委員会の審査によります。

■申込受付場所 建設課建築担当

トマム支所

■お問い合わせ 建設課建築担当 ☎ 56-2172

## 村営住宅等入居者募集のご案内

募集団地	受付期限 3月15日(金)
●中央地区 1戸	
○中央団地 3LDK 1戸	
●トマム地区 1戸	
○トマム地区夫婦世帯向け村有住宅 3LDK 1戸	

※こちらの住宅は入居基準、入居可能日が異なります。  
詳しくは建設課建築担当までお問い合わせください。

## 運転免許更新時講習会

会場：富良野地域人材開発センター  
富良野市西麻町1番1号

### ■優良講習(30分)

- ◎3月5日(火) 13時～
- ◎3月12日(火) 13時～

### ■一般講習(1時間)

- ◎3月5日(火) 14時～
- ◎3月12日(火) 14時～

### ■初回講習(2時間)

- ◎3月8日(金) 13時～

### ■違反講習(2時間)

- ◎3月18日(月) 13時～

※警察署等で更新手続きを終えていなければ、更新時講習は受講できません。

富良野警察署交通課 ☎ 22-0110

## 占冠村の放射線量の状況(2月分)

測定日 令和6年2月7日(水)

【単位：マイクロシーベルト毎時】

測定場所	測定時間	天候	測定値
中央小学校グラウンド	15時02分	雪	0.030
双民館グラウンド	14時51分	曇り	0.031
占冠地域交流館グラウンド	14時30分	雪	0.026
占冠保育所グラウンド	14時35分	雪	0.030
トマム学校グラウンド	13時57分	雪	0.022
トマム保育所グラウンド	13時54分	雪	0.024

※北海道の空間放射線量率モニタリング結果(上川総合振興局0.021～0.098)と比較して平常レベルと判断されます。「北海道の空間放射線量率モニタリング結果」は、下記のホームページで公開されています。

『環境放射線測定結果【北海道立衛生研究所】』

http://www.iph.pref.hokkaido.jp

総務課総務担当 ☎ 56-2121



### 災害発生時の適切な行動について

令和6年1月1日に最大震度7を観測した令和6年能登半島地震は、家屋倒壊や土砂災害、津波などにより死者が200人を超えるなど、甚大な被害を及ぼしています。災害はいつ、どこで発生するか分かりません。いざという時のために日頃から備えを万全にしておきましょう。

今回は「警戒レベル」についてお話ししますが、皆さんはこの言葉をご存じでしょうか。警戒レベルとは、災害の危険性や今取るべき行動を直観的に理解できるように5段階で示す情報のことです。

#### <災害に関する警戒レベルについて>

レベル5 緊急安全確保	すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です。
レベル4 避難指示	全員速やかに危険な場所から避難しましょう。
レベル3 高齢者等避難	避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は危険な場所から避難しましょう。
レベル2 大雨・洪水・高潮注意報	自らの避難行動を確認しましょう。
レベル1 早期注意報	災害への心構えを高めましょう。

#### 救急出場状況

(1月分)

交通事故	4件(2人)
労働災害	1件(1人)
一般負傷	17件(17人)
自損行為	1件(1人)
急病	18件(13人)
その他	1件(0人)
1月計	42件(34人)
累計	42件(34人)

※( )内は搬送人員



## 野生動物対策の状況

農林課林業振興室  
野生鳥獣専門員  
56-2174

### エゾシカ

冬から春に向けて、山の南向き斜面や川沿いで食べ物を探すシカをよく見るようになりました。木の皮や枝先、地面が出れば草の葉や根を食べているようです。毎年のことですが、力尽きて死ぬ子シカが散見されます。村内で成獣の自然死亡はなかなか目にしませんが、生存個体の削壊はさほどでなく、割と余裕があるのかもしれません。捕獲は駆除・狩猟ともに前年度よりやや少なめながらおむね堅調です。



枝を食む1歳雌  
2月7日ニニウ

### ヒグマ

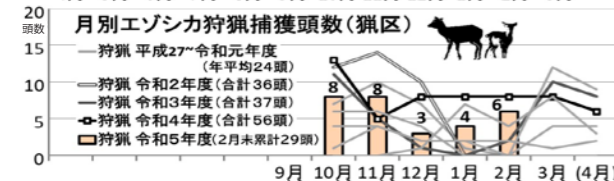
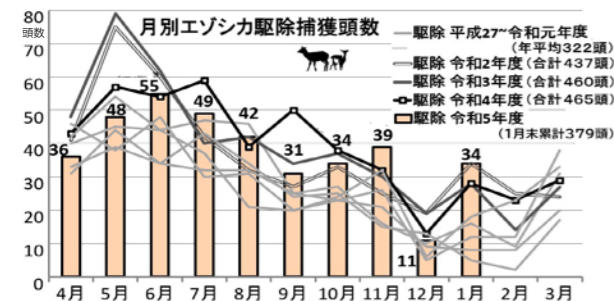
2月半ばの異常な暖気で、早い出現を心配された方も多いと思います。2月22日現在、まだ活動情報を得ていません。もとより気温や融雪と冬眠明けの関係は不明ではありますが、いずれにしても3月は普通の活動開始時期なので、山野ではヒグマの足跡やシカ死骸に注意し、遭遇回避に努めましょう。

今期のヒグマミーティングは1月27日に実施し、大勢の方にご参加いただきました。次号や村ホームページで改めて報告いたします。

#### ◆ 猟区の入猟対応について ◆

当期のガイド付きシカ猟は、研修事業と合わせて2月末まで分として20回41日実施しました。4月15日まで実施予定です。

占冠村猟区は設置から10年目を迎えました。この間、管理者である村が狩猟の計画と実施を担う猟区ならではの体制で、村で暮らす皆さまの安全と安心、村を訪れる狩猟者の活動の充実、持続的なシカ捕獲による食害抑制、さらに狩猟関連の普及教育などを積み重ねてきました。法律に定める設定の有効期間は10年なので、再度設定の取り組みを次年度に向けたいと考えています。より良いあり方をめざし、皆さまのご意見をお待ちしております。また所有地に係る同意確認も改めてお願いする予定です。



### つながり

令和5年度が終わりを迎えました。11月から1月にかけての3カ月間、大きな行事がありました。

11月9日には清流大学との「ふれあい授業」を行うことができました。生徒たちは大学生の皆さん約15人とともに、美術(1年)では「カード作り」、書写(2年)では「来年の抱負を書こう」、そして国語(3年)では「言葉の説明ゲーム」という内容で授業に参加しました。世代を越えた交流活動を通して、普段の授業とは異なる学びを深める良い機会になりました。



11月20日、「占冠村CS(コミュニティ・スクール)議会」が開催されました。従来通り、トナム学校の生徒との合同授業として行われました。昨年度は「村のごみ問題」について議論しましたが、今年度は、「議会体験」をテーマに9月の議会傍聴に始まり、10月から準備を進めました。本校の生徒は5つのテーマに分かれ、議員の協力を得ながら知識を深め、課題に取り組みながら一般質問に向けての準備を行いました。本番では、しっかりとした質問を行うことができました。地域の将来について深く考える重要な機会となりました。

1月4日から14日にかけて、アスペン市への短期留学事業が実施されました。今年度は、アスペン市との姉妹都市提携30周年記念事業が行われた特筆すべき節目でもありました。アスペン市では、よさこいソーランを披露するなど、異文化交流に貢献しました。事業に参加した生徒はそれぞれ「日常生活」「学校」「気候」「ベジタリアン」「飲み物」という5つのテーマに分かれ



報告会で発表しました。異国の文化を肌で感じ貴重な経験を積むことができたことに感謝いたします。

令和6年度に向けて、小中一貫校として中央小学校と、また占冠学園としてトナム学校との連携を強めながら、生徒にとってより充実した教育活動を展開していきたいと考えています。



## こちら駐在所です

占冠駐在所  
56-2110

### 令和6年度(第1回)北海道警察官採用試験のご案内

警察官の仕事には交番勤務や犯罪捜査、防犯活動、交通指導取り締まり、災害救助等多岐にわたり、特技や資格がある方はもちろん、どんな方でも自身の個性を生かすことができます。

#### 受験資格

- ▶学歴 A区分: 学校教育法による大学(短期大学を除く)等を卒業した者  
B区分: A区分以外の者 ※学校教育法による高等学校に在学中の者を除く
- ▶年齢 平成4年4月2日から平成19年4月1日までに生まれた者

#### 採用予定人数

- 男性: A区分 140人程度、B区分 40人程度 (250人程度)
- 女性: A区分 50人程度、B区分 20人程度

#### 試験日程

- 受付期間: 3月1日(金)~3月29日(金)
- 第1次試験: 4月28日(日)
- 第2次試験: 6月上旬~6月中旬
- 最終合格発表: 7月19日(金)(予定)
- 採用予定日: 令和7年4月1日以降
- ※卒業見込者以外は、令和6年10月1日に採用となる場合があります。

# ラッチャコナイト2024



2月10日(土)、占冠・村づくり観光協会主催のイベント「ラッチャコナイト」が今年も道の駅で開催されました。会場では、鹿肉グルメ・スイーツ等の出店や雪の滑り台が来場者を楽しませました。また、今年もアイスキャンドルコンテストが開催され数々の個性豊かな作品がずらりと並びました。

夜にはアイスキャンドルに火がともり、辺り一帯が幻想的な雰囲気になりました。最後には至近距離で花火が打ち上がり、冬の澄んだ夜空を華やかに飾りました。



雪の滑り台は子どもたちに大人気。何度も何度も滑る子が続出でした。



今回初開催だったスノーフラッグ大会。大人も子どもも夢中で競い合って大いに盛り上がりました。



至近距離で打ち上がる花火でフィナーレ!



恒例のアイスキャンドルコンテストでは、村内外から個性豊かな作品が出そろいました。

アイスキャンドルとイルミネーションが占冠の夜を幻想的に彩りました。



**広報からのお知らせ**

各行事等では広報の取材・写真撮影をさせていただいています。

広報への掲載をご承諾いただけない場合は、その場でお申し出いただくか担当までご連絡ください。広報紙に関する情報・意見・要望もお待ちしております。



ご誕生  
おめでとう  
ございます



字中央  
すずきはる  
鈴木 遥大 くん  
令和6年1月16日生



## ■人口・世帯数 (1月末住民基本台帳登録数)

人口	男	女	世帯数
1,586人 (-5)	838人 (-2)	748人 (-3)	1,146 (-2)

《うち外国人の人数 536人》

中央	占冠	双珠別	トマム	出生	死亡	転入	転出
667人	76人	40人	803人	1人	1人	29人	34人



広報しむかっぱは、震災復興型カーボンオフセット用紙を使用し、CO<sub>2</sub>削減事業ならびに東北経済復興を応援しています。

発行/占冠村 編集/企画商工課 印刷/(株)総北海

☎ 079-2201 北海道勇払郡占冠村字中央 ☎ 0167-56-2124 FAX 0167-56-2184

占冠村ではホームページを開設しています。アドレス <https://www.vill.shimukappu.lg.jp>